

サテライト 蜻蛉通所リハだより

1月号

通所リハ 定期カンファレンス

介護予防通所リハビリテーションでは、三カ月に一回の頻度で、各職種(医師・看護師・介護士・リハビリ)合同で、カンファレンスを開催しています。カンファレンスでは、リハビリの進捗状況、生活上での課題や目標設定が話し合われ、各専門職により、アプローチ内容が検討されています。



足に傷が できやすかったAさん

両下肢の運動障害と循環障害、感覚障害を有していた女性のAさん。感覚障害により知らない間に足に傷ができやすく、適切な処置をしないと感染症を起こしやすい状態であった。また、自ら薬を塗布したり、傷口をしっかりと乾燥させたりすることを実施する事が難しく、傷口の状態が悪くなりやすい状況であった。

課題の整理

カンファレンスの場で課題整理

- ①足の状態を評価するにあたって 職員へ伝えやすくなる(信頼関係)
- ②足の傷がどこに出来ているか、自分で確認できる工夫
- ③処置の方法や必要性についての理解を高めてもらう

の3つの対策があがりました。

Aさんの希望

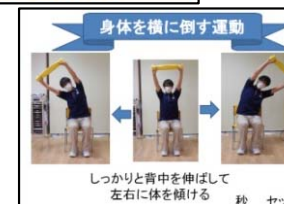
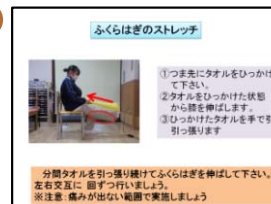
夫と二人暮らしで、主婦として家事全般、自分の役割として担っていた。自分が入院してしまうと、家事を全て夫が担わないといけない状況もあったため、傷口への感染を起こさず在宅生活を継続したいという希望がありました。

多職種協働での アプローチ

①に対して、Aさんが話しやすく感じる雰囲気作りとして、職員から日常会話を積極的に行いました。徐々にAさんから話しかけてくれる頻度も増え、足の状況についても話題になる機会が増えました。②・③に関しては、通所看護師と共同して、鏡で足のどの部分に傷が出来ているのか、どのような処置をしたほうが良いのかに関して、Aさんも交え話し合いました。現在は、状態も改善し入院することなく在宅を継続されています。

自主トレーニングの種類が増えました♪

- ①つまずき防止
- ②バランス向上
- ③肩こり緩和・予防
- ④腰痛緩和予防
- ⑤手指の運動
- ⑥柔軟性向上
- ⑦膝痛緩和・予防
- ⑧浮腫緩和・予防



蜻蛉では、ご自宅でも運動を続けられるように、自主トレーニングの指導を行っています。今回、運動効果を高める目的でトレーニングのメニューが増えましたので、ご紹介します。

実施後チェックを利用者ごとに行います



新たに活動の体験コーナーを作りました

色々な活動の体験や見本がある事で、「私もこれ作ってみたい。どうやって作るんですか」と興味を持ち、活動に意欲的な方が増えてきています。

利用者同士で 教え合う姿も見られています



ご連絡おまちしております!



介護老人保健施設鴻池荘
受付時間 9:00~17:00

TEL 0745(64)2180
FAX 0745(62)1092
担当者：相談員